

広報

かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き

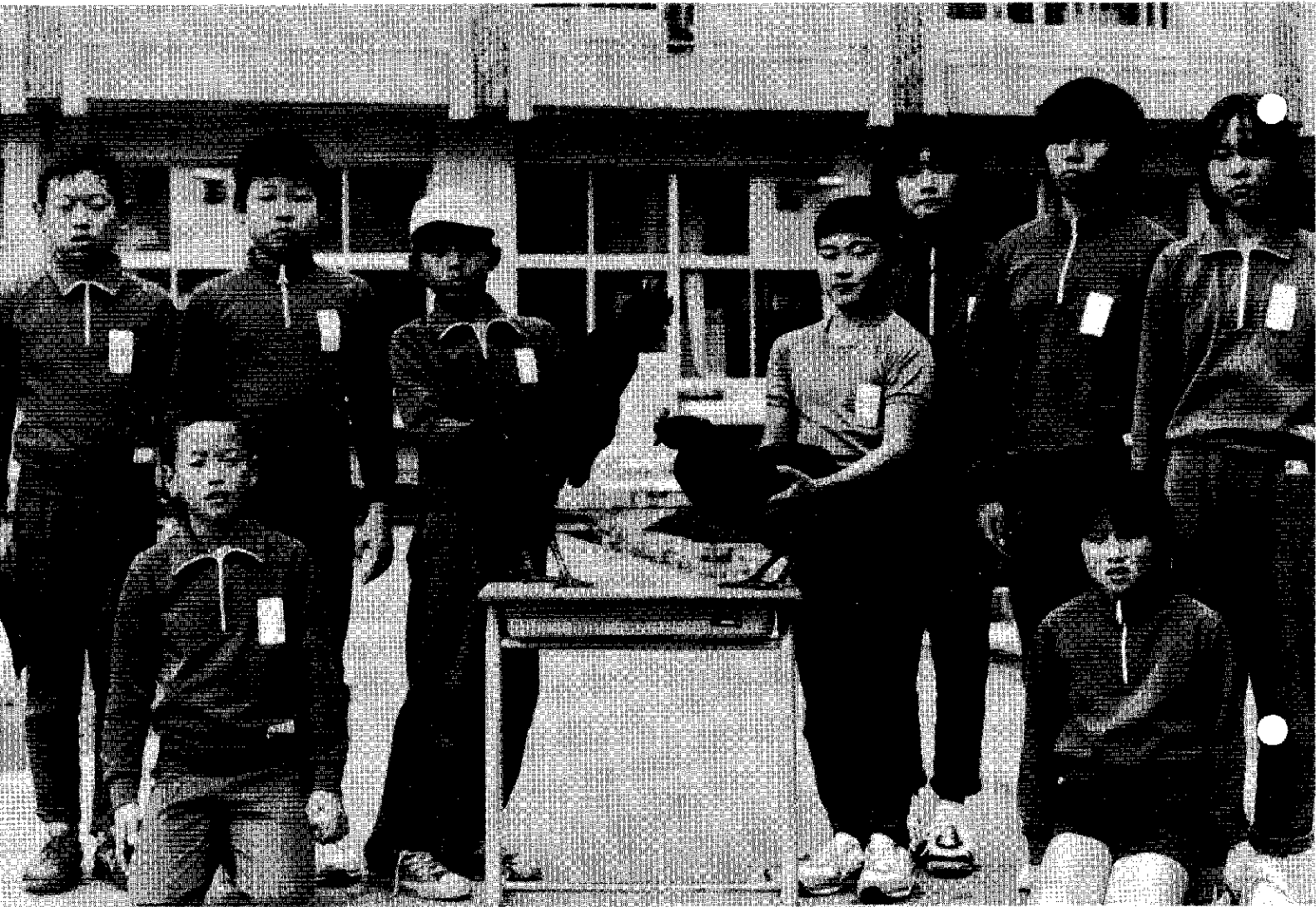
—12月1日現在—	
男	4,629 (+3)
女	4,754 (+3)
計	9,383 (+6)
世帯数	2,287 (+2)

() 前月比較

昭和62年12/10 No.352

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



人なつっこい珍鳥さんは にいがた原産 =千手小学校=

天然記念物のトウマルは、全国に500羽しかいない長鳴き鳥。

黒緑色で、真っ赤なとさかのつがいは、県から贈られました。

10月から5・6年生の飼育委員が大切に育てています。

「ろーろー」という低い声で、なが〜〜く鳴きました。

☒ 休日救急医

12月13日	山口 医院(袋町中)	☎52-2174
20日	庭野 医院(寿町)	☎52-2711
27日	中条 病院(中条)	☎57-3018
29日	大島 医院(川原町)	☎52-2957
30日	富田 医院(神明町)	☎52-3269
31日	大坪 医院(四日町)	☎57-6100
1月1日	池田 医院(本町西)	☎52-2581
2日	庭野 医院(寿町)	☎52-2711
3日	山口 医院(袋町中)	☎52-2174
10日	千手診療所(中央町)	☎68-2034

議 会

報 告

助役は 南雲 守氏 収入役は 田口 一朗氏 を再任

十一月七日第六回町議会臨時会が開かれました。故小川清次議員の合同葬儀経費五〇万円を追加した一般会計補正予算(専決処分)承認のあと、十一月十四日任期満了となる助役、収入役に、引き続き南雲助役、田口収入役を選任することに、同意しました。

また、「第十次道路整備五カ年計画の投資規模確保等に関する意見書」を、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出することが決まりました。

南雲助役のおもな経歴



中仙田 昭和六年二月十日生

42・12・1 土木課農業土木係長
44・4・1 土木課第一係長
50・4・1 学校教育課長
53・4・1 総務課長
58・11・15 町助役就任
62・11・15 同再任

田口収入役のおもな経歴



木落 大正十五年六月四日生

36・2・1 税務係長
38・2・1 財政課長
43・4・1 収入役室長、副収入役
49・4・1 産業課長
54・12・16 建設課長兼企業室長
57・10・1 企画室長
58・11・15 町収入役就任
62・11・15 同再任

故小川清次さん 從六位 瑞宝章の栄誉

十月二十日に亡くなられた町議會議員小川清次さん(下平新田、享年七十二歳)に、内閣総理大臣から從六位勲五等瑞宝章が贈られました。

同氏は、四十年九月町議會議員に初当選しました。以来、連続六期当選、亡くなられるまでの二十二年間議会活動を続けられました。その功績が認められたものです。

議員中のおもな職歴

44・9・1 監査委員(4年)
48・8・31 総務文教委員長(4年)
48・9・1 副議長(2年)
54・9・1 議長(4年)
56・8・31 畜産公害対策協議会会長(4年)



58・4・1 地域休養施設運営委員
60・8・31 員会会長(2年5月)
59・5・28 信濃川架橋促進委員
62・3・10 会会長(2年9月)

団 体 歴

30・4・1 県旧軍恩連盟郡連合支部長(6年6月)
36・9・30 支部長(6年6月)
36・10・1 県軍恩連盟郡連合支部長(26年)
62・10・20 同連盟常任理事(14年7月)
62・10・20 同連盟常任理事(14年7月)
56・9・1 郡町村議会議長会監事(2年3月)
58・11・23 同会会長、県町村議会議長会理事(1年9月)

表 彰

36・7・22 県旧軍恩連盟会長表彰
38・10・6 軍恩連盟全国会長表彰
53・7・10 県町村議会議長会長表彰(地方自治功労)
56・2・6 全国町村議会議長会長表彰(同)
61・7・23 県町村議会議長会長表彰(同)
61・11・1 町長表彰(町政特別功労)

町づくりに向けて

総合開発計画を改定

会長に 押木元男氏

副会長に 丸山欽一郎氏



町長から諮問書を受ける押木会長

十一月九日、総合センターで、町総合開発計画審議会が開かれました。

町の総合開発計画は、昭和四十四年に初めて作られて以来、四回にわたって改定しながら、将来の町づくりの進め方や、その具体策をまとめた、総合的推進プログラムといえます。

今回、この内容の一部変更や見直しをすることとなりました。

いぜんとして若年層を中心に、人口流出が続いています。

この傾向の中で、新十日町大橋(仮称)の架橋、JR水路トンネルの着工、リゾート構想の組み入れなど、町づくりに当たって重大な影響を持つプロジェクトの具体化などを施策に反映したいということがあります。

今回、町長から委嘱された同委員は三十人。町議会議員、教育委員会、農業委員会の委員などのほか、各種団体の役員や地域活性化の旗手ともいえる若い人たちが選ばれました。

審議会では、三つの部会に分かれて審議が進められ、十二月中旬に、町長あて答申書が提出される予定となっています。

審議会委員のみなさん

(敬称略・順不同)

(◎)委員長 (○)副委員長

第一部会

◎ 小海貞二 (上野)

○ 馬場文雄 (中央町)

平野圭二 (東善寺)

高橋信雄 (赤谷)

丸山欽一郎 (原田)

水品正一郎 (三領)

田口秀子 (木落)

丸山一徳 (原田)

山家勝一 (木落)

平野正晴 (上町)

第二部会

◎ 登坂 茂 (岩瀬)

○ 高橋弥太郎 (高原田)

押木喜策 (元町)

第三部会

◎ 小林寅雄 (中屋敷)

○ 富井タキ (上野)

押木元男 (元町)

滋野一郎 (野口)

金子幸作 (岩瀬)

宮 啓一 (山野田)

北村秋江 (東善寺)

小林正夫 (木島)

北村日出太 (山野田)

松本一仁 (中屋敷)

小山美智真 (中仙田)

星名憲三 (十日町市)

滋野豊子 (野口)

小熊与志雄 (上野)

小林重則 (木島)

若山秀子 (新町新田)

小海 博 (神社町)

太田両氏県知事から表彰

十一月三日県庁で、六十二年度県知事表彰の表彰式がありました。

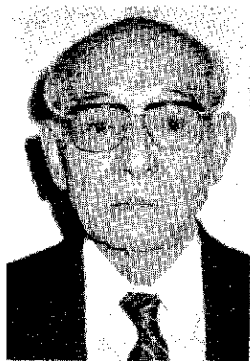
県政功労者二人、技術賞受賞

者十人、一般功労者二十四人、団体が表彰されました。

当町では、一般功労者として次のお二人が表彰されました。

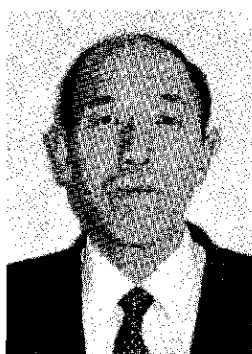
農林水産の部

原田 丸山欽一郎さん(62)



社会福祉の部

中央町 太田義雄さん(72)



冬の道路を快適に

線総延長 97.92キロメートル

国県道 45・5キロ
町道 52・42キロ

今年もまた、雪に対して備えなければならぬ時季となりました。

十一月二十八日、道路除雪協力量会総会が開かれ、道路の除雪計画などについて審議決定されました。

昨冬から、川西町除排雪協同企業体（代表吉楽土建）が組織され、町では全路線の除排雪作業を一括この企業体に委託しています。

同企業体は、次の十社で組織されています。（順不同）

- 吉楽土建 羽鳥建設
- 村越工業 星名建設
- 北野工務店 押木建設
- 魚沼重機工業 高橋建材工業
- 福田石材 井川建設

千手地区

路線名	除雪区間	
	起点	終点
山野田西浦線	平野	上原忠二宅
中島町栄町2号線	朝日	道駐車場
山野田原栄町線	千手	鉄道山柳
中島町山野田原栄町2号線	島町	山野田原栄町
山野田原栄町2号線	宮本	昌幸宅
田中四郎兼寺線	南川	雲徳吉宅
東善学校尾友東浦線	富野	屋沢農協
田中島伊東浦線	千手	伊友小根
高原田西浦1号線	佐渡	屋商店
高原田西浦2号線	佐渡	屋商店
古裏山部たぬ霜条坪北線	小八	らき屋宅蔵材館
	高橋	弘建池民
	山条	公霜民

仙田地区

路線名	除雪区間	
	起点	終点
新町新田岩瀬線	国道404号	登坂松二宅
岩瀬部内1号線	越ヶ沢トンネル	出口
田戸越ヶ沢トンネル線	仙田郵便局	前
中仙田東浦1号線	国道404号	大坂屋
中仙田東浦2号線	大坂屋	戸藤沢
田戸部内線	大坂屋	戸藤沢
田戸部内線	大坂屋	戸藤沢

上野地区

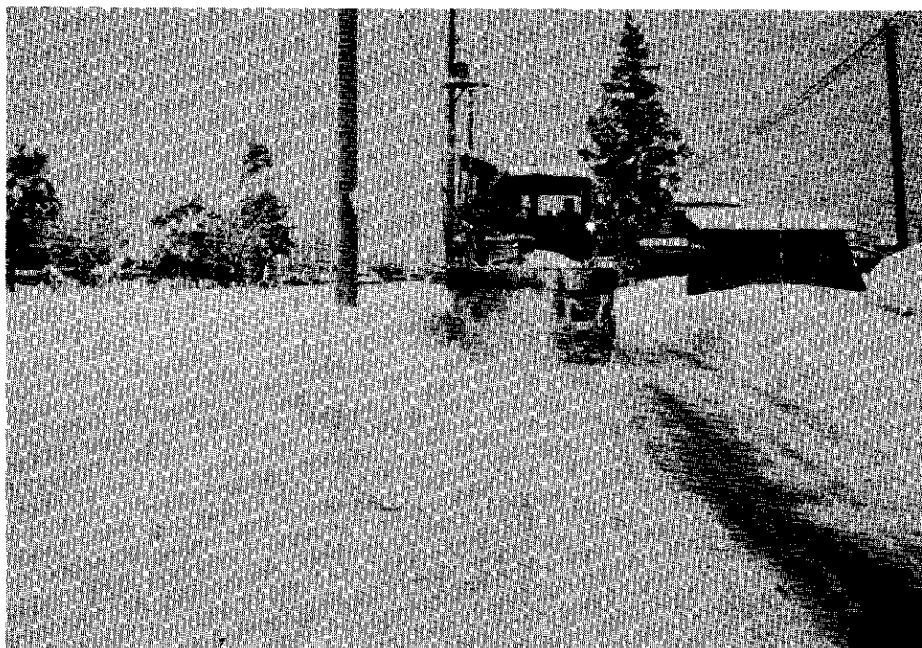
路線名	除雪区間	
	起点	終点
上野向山線	全線	上野鶴吉線
元町新田中学校線	上野西浦2号線	上野西浦3号線
上野東浦1号線	国道252号線	下平新田線
上野西浦3号線	喜屋豆腐所	新町新田中学校線
上野西浦1号線	上野西浦2号線	上野下平新田元町線
上野西浦4号線	根津石三宅	上村峯松宅
上野西浦5号線	上野西浦1号線	勝見屋商店
元町新田寺ヶ崎1号線	神民館	新町新田環状線

橋地区

路線名	除雪区間	
	起点	終点
木落部内1号線	木落部内全線	
木落部内2号線		
木落部内3号線		
新町新田岩瀬線	県道の入口	川塩下川片村県道
新町新田岩瀬線	山崎小	西公一宅
新町新田岩瀬線	大須下	塩幸原清八郎宅
野口環状線	原2号線	下原三原一徳宅
野口環状線	原2号線	下原三原一徳宅
野口環状線	原2号線	下原三原一徳宅

第2種除雪道路

(1車線確保を原則とするが場合に) によっては一時交通不能になる



今冬も小雪なのでしょうか (62.1.25 中島町栄町線)



除雪路

ぜひ守ってほしいこと

- ◆ 十二月一日から三月三十一日まで、除雪路線は全面駐車禁止です。
- ◆ 道交法施行細則で、道路上に雪を捨てることが禁じられています。やむを得ず屋根の雪などを落したら、速やかに片付けてください。
- ◆ 消雪パイプは、午後二〜三時と四〜五時の二時間、運転休止になります。

千手地区

路線名	除雪区間	
	起 点	終 点
山野田下平線	県道	永井コンクリート
山野田原栄町線	山野田下平線	相崎貞雄宅
山野田原栄町線	"	佐藤稔宅
山野田原栄町線	平野稔宅	高橋寅義宅
山野田西浦線	くりや商店	北村直次宅
" 大谷堤線	北村直次宅	幹
四郎兼線	新保クリーニング	山野田大谷堤線
山野田下平線	中島町栄町線	県道
東善寺籠堤線	県道	小千手神社
山野田井沖立線	栄市川良夫宅	千手小学校前
裏町上新井沖立線	坂新	高嘉商店
水口沢沖中屋敷線	孫六商店	高水源寺
寺尾千手城跡線	しろがね床屋	長福寺
中屋敷長福寺線	高嘉商店	幹
" 島坪山線	高木島住	" 徳二宅
" 伊友線	扇屋材木店	羽鳥西高
高原伊友小根岸線	当葉材木店	観川伊友小根岸線
北原伊友浦線	土地改良区事務所	高平原伊友小根岸線
高原西元町線	当葉材木店	幹
東山新町新田線	十日坪	井川製材所
沖立学校池線	元坪	山野田木島
高原田元町線	幹	国道 252

上野地区

路線名	除雪区間	
	起 点	終 点
高原伊友小根岸線	国道 252 号	焼土工場
三領部落内全線	三領部落内全線	土状宅
元町新田元町線	三領部落内全線	木重安
上野下平新田環状線	国道 252 号	かまの
元町中子環状線	国道 252 号	ながな
上野下平新田環状線	やまに宅脇	かまの
" 中沢線	下平新田部落内全線	下水処理場
新町新田環状線	" 環状線三方	
	新町新田部落内全線	

橋地区

路線名	除雪区間	
	起 点	終 点
木落環状線	木落部落内全線	大橋ハ取
仁田大原1号線	木落部落内全線	和伸管
" 四十歩1号線	木落部落内全線	小リ安
" 五升苗線	木落部落内全線	取諏仁橋
木落原田線	木落部落内全線	下根取
" 口環状線	木落部落内全線	安
仁田野口下原線	木落部落内全線	安
原田線	木落部落内全線	安

仙田地区

路線名	除雪区間	
	起 点	終 点
田中藤沢線	国道 404 号	室島水源
赤谷西東浦線	登坂ハル栄	公青山商
" 島東神浦社線	田国全線	青相島浦2号
" 臨高倉線	東浦1号	島倉環高
小高倉環状線	倉環状線	高倉高
中仙田新屋敷線	仙田新屋敷線	小勇二宅

第 1 種除雪道路

(2車線または1車線の幅員確保を目標)

躍



新潟市のデパートで開かれた作品展 (11.3撮影)

県読書大会に 小・中あわせて21人が受賞

特選を受賞された作品



南雲朝子さん(千小3年)



星名聡美さん(千小6年)

十一月一日、新潟市内のデパートで、県書道教育研究会(元新大講師相沢庄一郎会長)主催の県読書大会授賞式がありました。

小学校(三百六十一校参加)の部では千手小が、中学校(百九校参加)では川西中が、それぞれ団体賞を受賞しました。個人の部では、次の児童、生

徒が、それぞれ入賞しました。

【小学校】

〔特選〕(三年)南雲朝子
(六年)星名聡美(以上千手)

〔準特選〕(二年)小海明子

(三年)平野雄介 柄沢大輔

嶋原愛 門脇真琴 柄沢英理子

(四年)星名恵美子 (五年)

金子亜由美 平野綾子 (六年)

(以下敬称略)

【中学校】

〔準特選〕(二年)藤巻美雪

田中優子 (二年)数藤光恵

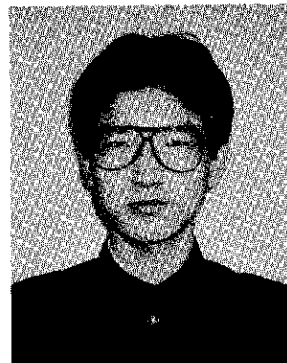
(三年)小海裕 星野友紀 小

川聡子 清水学

関口文恵 高橋美和子(以上千手) 戸田葵子(橘)

全国駅伝

都	大	路	の
活	躍	を	



十一月一日、新発田市で開かれた「第三十八回県高校駅伝」で、五年ぶり五回目の優勝を果たした十日町高校男子チーム。このメンバーの中に、伊勢平治出身の窪田稔君(三年、英男さん三男)がいます。優勝した十高チームは、十二月二十日、京都での全国大会に出場します。窪田君は「県大会の前に体調を崩して、チームの足をひっぱってしまった。全国大会には体調を整えて、がんばります。」と語ってくれました。

大活

力

千手小学校

県自治活動賞を受賞

花が咲いた

「一人一鉢」運動

千手小学校（渡辺一作校長、児童数三九九人）が、あしたの新潟県を創る運動協会から、環境美化部門の自治活動賞が贈られました。

これは、同校の五十六年から始めた花壇づくりが、毎年、花いっぱいコンクールで優秀な成績をおさめている実績が認められたものです。



書に—花に—スポーツに

かわにしの

友好中日

「学生書道展」

川西中の書家

多数が入選



入賞の田村真一君は、「特別賞は大変うれいのです。小学二年から書道を習いはじめました。出品が近づく毎毎日練習します。来年の書き初めにも、がんばりたいと思います。」

十月十一日、県民会館（新潟市）で、県書写書道教育研究会（吉田行雄会長）主催、日中友好新潟県学生書道展の表彰式がありました。

川西中学校では、次の生徒が表彰されました。

（以下敬称略）

【特別賞】同研究会賞
〈二年〉田村真一

【特選】〈一年〉高橋健太郎
北村吉弘 江口雅子 藤巻美雪
小林奈奈子 丸山裕子 高橋憲二
〈二年〉清水靖子 角谷諭

太田和幸 星野友紀 相崎幸子
押木久光 星名薫

【秀作】〈一年〉小林清美

田村有二 藤巻俊洋 星名夕子
清水麗子 戸田美和子 大塚恵里
上村章子 小川康男 村越薫
村越真 丸山貴美子 小嶋昌子
小川晴美 〈二年〉金子晶代
小嶋早苗 〈三年〉白井佳代
高橋直樹 藤田朋成 佐藤真由美

【入選】〈一年〉高橋京子
〈二年〉野沢秀子
〈三年〉丸山元子

はる
史
語

川西郷の農地改革 ①

岩瀬金子 幸 作

大地主の発生

寛永二十年(一六四三)に幕府が定めた「田畑の永代売買禁止」が解かれたのは、明治五年(一八七二)である。土地の売買が自由になると、地積や石高を見なおす地租改正のきびしい調査が実施され、作らせる者と作る者の区分が明確になった。地主と小作の關係が強くなり、土地の所有権も激しく移転して貧富の差が増大した。

大地主は、近世またはそれ以前に、領主からあたえられた特権や荒れ地の開墾、瀬違ひ新田



大正初期の室島増田邸 (小根岸小海正太郎さん所蔵)

の開発などによって発生した。

これらの丹那(だんな)様は、わが国の資本主義が発展していく過程で、小農が資金難や米・繭相場の変動などから耕地や山林を手放すことが相ついで。それを買い入れて蓄積し、その広大な土地を小作させた。かたわら、有能な執事たちを得て土地や山林資源を活用し、金融、醸造、商工業などを営むことで加速度的に財を成すことができた。

明治三十五年刊の「新潟県地価持姓名録」には、川西郷の大地主として、次の五氏があげられている。(数字は地価額(円))

大正六年(一九一七)に、川西郷五カ村で地価百五十円以上を有した地主は、六二〇人を数えている。この年、五月上旬の米相場は、玄米(並下)四斗入り一俵(六〇キロ)が五円三十

銭で、地価の七百円は、米三二俵に相当した。村外所有者も含めた地所持ち百人衆は、次の地主たちであった。「中魚沼郡地主鑑」から、単位円)。

千手町村	星名松太郎 三、七二三	沖立	星名彦太郎 二、二六三	星名松太郎 九、三三六	室島	古沢 英保 九、三八	上野	小林 林治 八、八九	藤沢	中野村	清龍寺 九九七	霜条	中村 勇松 一、七九八	坪山	高橋栄三郎 一、二六五	山	中村 茂平 九八七	〃																																				
上野村	星名佐藤治四四、三八〇	上野	星名民之助 二、二一八	〃	〃	古沢 英保 一、七九八	〃	根津 礼三 九七三	〃	仙田村	南雲 壮七 九〇四	中仙田	増田 定助 二、五二五	室島	高橋 省三 二、四八一	〃	高野 栄三 一、二八二	〃	半田 久藏 一、〇三二	〃	相国寺 九三八	〃	桑原秀五郎 九三三	桐山	齋木 源佐 一、〇六二	高倉	齋木 忠吉 八九五	〃	小林 林治 二、九三二	藤沢	茂野 平吉 八九八	〃	佐藤小平蔵 八七八	〃	押木 竹尾 二、九四七	田戸	押木 千里 一、五三五	〃	押木 源作 八五二	〃	川崎 俊平 一、三二四	越ヶ沢	川崎 隆吉 八五七	〃	登坂 匡次 一、三三四	赤谷	登坂 林平 九四三	岩瀬	中条喜三太 七二四	〃	田中 信一 八九二	小白倉	江口熊三郎 七八八	〃
中野村	清龍寺 九九七	霜条	中村 勇松 一、七九八	坪山	高橋栄三郎 一、二六五	山	中村 茂平 九八七	〃	〃	橘村	野沢 秀保 二、五五三	野口	野沢 永造 二、〇一三	〃	丸山 進蔵 二、五六五	原田	丸山 能吉 二、〇四二	〃	丸山 源吉 一、九二六	〃	上野	星名佐藤治 九、二二二	上野	増田 太平治 六、〇一九	室島	増田 太平治 九、三七六	室島	古沢 英保 九、三八	上野	小林 林治 八、八九	藤沢	中野村	清龍寺 九九七	霜条	中村 勇松 一、七九八	坪山	高橋栄三郎 一、二六五	山	中村 茂平 九八七	〃														

— お知らせします —

東京仁田会

千代田区 山田 十久二さん

ビルの谷間で見つけた菊の花に、あの澄みきった晩秋の古里が、懐かしく思い出されるころとなりました。故郷の皆様は元気でしょうか。

今日は東京から、故郷をしのびながら大勢の人たちが、毎年集まっている会のあることをお知らせします。その会の名は、「東京仁田会」会員は、川西町仁田地区の出身者によって構成されています。

この会は、昭和十三年十月三日「東京仁田村人会」として発足したのが、その始まりです。あの戦中戦後非常に困難な時期に、私たちの先輩は、この仁田会の火を消さずに、守り抜いて

くれたのです。

私たちが、この会のお世話をするようになったのは、昭和五十五年からです。それ以後は、会場を決めておき、毎年九月の最後の日曜日に総会を開いています。

今年も東京を中心に、神奈川、千葉、埼玉、群馬、そして遠くは沼津から男女合わせて二十九人の参加者でにぎわいました。年齢も二十歳から七十五歳と、明治、大正、昭和の三代代が、なんのわだかまりもなく自分の生家に帰ったようなくつろぎ樂しみました。

会半ばでは、全員で「里の秋」「星影のワルツ」「誰か故郷を

先生も元気で

よかったない!

十月二十四日、六日町で五十年ぶりの「恩師を囲む会」がありました。

昭和五年から十一年まで、当時の仙田村立仙田小学校高倉分教場の卒業生（高橋弥太郎会長 九十五人）四十人が集まりました。そのうち、東京方面から二十一人が出席しました。

恩師は、岩田寅二郎さん（85

歳 十口町市小泉在住）と、近藤（旧姓高橋）静江さん（73歳 室島出身・十日町市下条在住）のお二人です。

同校は、すでに六十年三月閉校、百十余年の歴史をとじたばかりです。校舎はなくなっても師弟のきずなは、いつまでも存続しています。

想わざる」を大合唱し、終わりに恒例の盆踊りです。都会生活のわずらわしさや仕事のことを一切忘れて、大声を張り上げて思いっきり踊り、最後は「天神ばやし」でしめて散会となりました。

新幹線が出来、関越道路が出来ても、田舎にはなかなか帰れません。何年も帰っていない人

もいると思います。でも、私たちの心のなから故郷を消すことはできないのです。そして、私たちが思い出す故郷は、いつも美しく温かいのです。そうしたいがこの会をつくっているのだと思います。

もう冬も間近（10・31付けお便り）です。皆様様の健康を心からお祈り申し上げます。



東京仁田会に集まったみなさん

手が足が覚えていました
盆踊り





年末年始の 交通事故防止運動

62.12.11 ~ 63.1.10

ゆく年くる年 ルールを守って 安全運転

【重点】

- 1 飲酒運転の追放
- 2 歩行者、自転車事故の防止
- 3 スリップ事故の防止
- 4 踏切事故の防止

飲酒運転追放三ない運動

- ◎ 酒を飲んだら車を運転しない。
- ◎ 車を運転するときは酒を飲まない。
- ◎ 車を運転する者には酒をすすめない。

千手地区 市川幸治さん(中島町)
上野地区 南雲隆三さん(三領)
橘地区 滋野定良さん(野口)
仙田地区 小林政夫さん(中仙田)

担当する調査員

十二月三十一日現在で、工業統計調査が実施されます。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末年始にかけて調査員が伺います。

製造事業所の
皆さんへ

ご協力
ください

ガイド

情報

停電のお知らせ

今回はありません。

心配ごと相談

12月16日(水) … 克雪センター
23日(水) … 総合センター
1月6日(水) … 上野コミセンター

時間は、午後1時～3時です。

移動交通事故相談

1月5日(火)
十日町市役所
受付は、午前10時～午後2時

ひと足早い X マスプレゼントは ジャンボなツリー

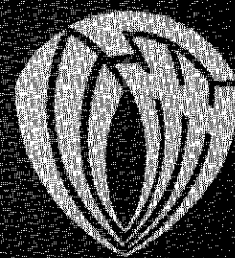


「クリスマスになっても、ツリーもない。ジングルベルの音楽も聞こえてこない町では、子供たちもさみしいのでは？」と、千手地区商店の若い人たちが中心となって、総合センター前に、ジャンボツリー(高さ十五メートル)を作りました。杉の木などを提供いただき完成したツリーの総経費は、およそ十五万円。十一月二十六日から灯がともりました。

この色合いは、「雪にもめげず、たくましく育つ、町の木ブナの力強い芽ぶき」を表現するものです。

先日募集した町の色には、二十一人近い方の応募がありました。そのうち、圧倒的に多い「黄緑色」が町の色と決まり、町旗の地色に採用されました。また、町のマークは、斎藤博文先生(川中・美術担当教諭)のご指導を得て「白」に決まりました。

町の色(イメージカラー) 決まる
町旗は濃い黄緑に、マークは白



公給領収証を 必ず受け取りましょう!

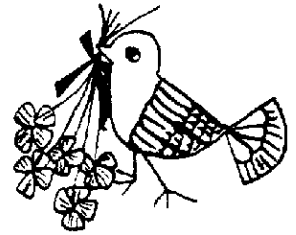
公給領収証の交付・受領強調月間

62.12.10 ~ 63.1.9

料理店などの経営者が、みなさんから税金を受け取ったしるしとしてお渡しするのが「公給領収証」です。また、公給領収証はみなさんからいただいた税金が、正しく県に納められたかどうかのあかしとなる大切な役割をもっています。

十日町財務事務所 間 税 係
☎ 57-5511 (内205)

善 意



(敬称略)

須藤誠一 (下原) 五万円
野沢和幸 (仁田) 三万円

おことわり

社会福祉協議会 (根津正治会長) は、町会計に属さない、いわゆる外郭団体です。他団体との均衡上、次号からこの欄には掲載しないことになりました。

おわび

新潟川西農協
道路反射鏡 十二基
先月号七ページのリゾート特

社会福祉協議会に

須藤良平 (下原) 五万円
小川滋 (下平新田) 二十万円
訂正します。

ねんきん

ふくし

国民年金の掛金は

税金の控除対象になります

サラリーマンは年末調整のときに、農業や自営業の方は二月から三月にかけての確定申告のときに、それぞれ申告書の「社会保険料」欄に今年一年間に納めた掛金の額を記入すれば、全額所得額から控除されます。

十二月は年末調整の月です。該当する人は、国民年金の掛金を忘れずに記入してください。

控除される掛金の額

① 定額掛金

一月～三月

一カ月 七、一〇〇円

四月～十二月

一カ月 七、四〇〇円

したがって、一年間では、

毎月納付……八七、九〇〇円

前納納付……八六、六六〇円

となります。

② 付加掛金

一カ月 四〇〇円

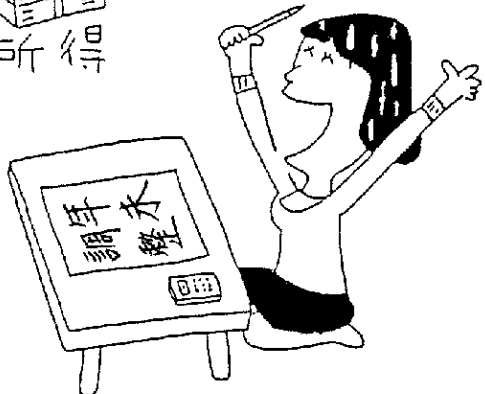
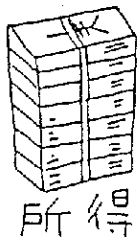
したがって、一年間では、

毎月納付……四、八〇〇円

前納納付……四、六八〇円

付加掛金を納めている方は、

①の額に②の額を加えた額が控除されます。



掛金の免除を受けた人には

有利な追納制度があります

経済的な理由など、事情があつて国民年金の掛金免除を受けている人には、その後、生活にゆとりがでてきたときに、さかのぼって掛金を納めることができる有利な追納制度があります。

掛金の額は、その免除を受け

たときの額で納めることができます。昭和三十二年四月分以降の期間については、二年を経過すると当時の掛金額に加算額がつくこととなります。

掛金の免除を受けた期間をそのままにしておくと、将来、年金を受けるときに、年金額が三分の一になります。この追納制度によれば、十年までさかのぼって免除期間の掛金を納めることができます。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

山口 歩樹 ひとみ 二男 仁田

齋木 裕 初美 長男 室島

浦井 愛子 昭夫 久美子 二女 仁田

中條 愛美 節子 幸 長女 坪山

丸山 洋祐 三義 姿子 二男 原田

星野 都子 秋夫 ミキ子 二男 根深

五十川 裕 雅幸 二女 沖立
中村 琴美 吉美 由紀子 二男 仁田

齊木 愛美 正幸 一恵 長女 小脇

久保田 裕紀 由美子 広二 長男 栄町

たかさご—ご円満に

高橋 徹夫 田中 篠田 秀子 北海道から

川崎 政春 上野 川崎 良子 上野から

星名 智 上野 井川 清江 新町新田から

丸山 昭男 根深 太田 芳美 十日町市から

小林 克彦 中仙田 江口 亨子 小白倉から
星名 正明 沖立 根津 園江 十日町市から

昇天—ごめい福を祈る

瀬賀 芳江 37 (下メ) 東善寺 片桐 イネ 63 (榮二) 小白倉

茂野 光吉 69 (孝志) 高原田 安本 政太郎 77 (本人) 神社町

星名 福治 78 (昇) 霜条 野澤 トメ 80 (和幸) 仁田

高橋 清野 80 (宏) 四郎兼 星名 ヒサ 80 (益雄) 下平新田

中條 クニ 84 (廣二) 岩瀬 田口 ラク 84 (昭吉) 木落

宮 ムメ 87 (新一) 朝日町



かわにし 俳壇

太田白南風選

発電所通り 小川 京子

○特選の金紙貼りて菊祭

○開眼の墓に舞い来し秋の蝶

新年俳句募集

12月25日必着

*題 雑煮・初明り・新年雑詠

*はがき一枚に五句以内

*町内名、氏名明記(雅号の人は実名も)

*役場内「文書広報係」か

中央町「太田白南風」あて

*入賞者には粗品呈上

三領 高橋たかし

○溝そばのさかりの畦の草紅葉

本家から菊の鉢借り祝事

岩瀬 小川 益栄

遅くまで動く影ある夜なべの灯

陽を抱きし大寺の庫裡干大根

伊勢原市 金子 桂吉

陰膳のきのこご飯の山盛りに

大倉 中条 石平

南天に雪占なつてみる開い

所沢市 池上マサ子

航空ショウウ華やかにして文化の日

三領 水品 律

山茶花のこぼる、紅を掃き寄する

野口 野沢 寅生

老二人にはや、多き千大根

赤谷 登坂 酔月

鳥渡る見ゆる限りを打ち仰ぎ

新町新田 井川 巨

困いしてひとときわ高き庭木かな

仁田 小幡しん女

軸替えて手の冷え冷えと年の暮

中屋敷 数藤 壮一

焼膳の熱さしみじみ父母の味

赤谷 登坂 登岳

えん堤に二三羽遊び渡り鳥

守口市 大久保正作

越の山雪うつつうと粒えり

八王子市 松浦 サク

柿熟れてもずの二三羽来る日なり

新町新田 万 柿

湯の宿の窓越しに見る枯野かな

日本酒二合

3.6 デシトル

ビールなら二本くらい



酒の酔いは、胃や小腸で吸収されたアルコール分が血液中に運ばれ、脳神経細胞に作用するために起こります。血中アルコール濃度と酔いの度合いの関係には個人差があります。それでも、血中アルコール濃度が〇・五％に達するとほろ酔い加減になるといふのがおよその目安です。

血中濃度を〇・〇五％にするアルコール量は、自分の体重にミリリットルをつけた体重が目安です。体重六十キログラムの人なら六十ミリリットル、日本酒だと二合ちよつとの量です。酒に含まれるアルコールの量は、酒百ミリリットル中のアルコール分をいい、「度」で表示されます。つまり、十五度の日本酒ならば百ミリリットル中十五ミリリットルのアルコール分が含まれているというわけです。さて、血中に入ったアルコールは大部分が肝臓にある代謝酵素によって分解され、最終的には水と炭酸ガスになって体外へ排出されます。この一時間あたりの分解量は、血中濃度を〇・五％にするアルコール量にほぼ匹敵します。

従って、一般的にいつて上手な飲み方の結論は、一日日本酒二合(ビールなら大びん二本くらい)までを限度に、午後十時ごろまでに飲み終えることです。それ以上に量が増えたり、夜遅くまで飲むと二日酔いになります。

たんぱく質や脂肪、ビタミン十分の食べものを食べながら飲むことも忘れないでください。胃を守り、肝機能をアップさせるだけでなく、栄養バランスをとるうえからも必要です。

